

種名	<u>ミドリシジミ</u> <u>Neozephyrus japonicus</u>												
													
分類	シジミチョウ科												
形態	前翅長 16～23mm。北海道は小型、裏面の地色が灰白色をおびる。普通、裏面は茶褐色、Favonius 属より暗い。後翅中央部の白色状は細く鮮明、♀ではやや太くなる。後角の橙赤色斑は発達する。♂の翅表は金緑色に輝く。♀は黒褐色、前翅にはいろいろな斑紋タイプが現れる。												
分布	北海道(利尻島を含む)、本州、四国、九州。平地から山地まで広く分布する。												
出現期	年1回の発生。6月中旬から羽化を始め、7月に多い。ほかのミドリシジミ類よりすこし遅れる。山地、寒冷地では7～8月に出現する。♀は9月まで生き残る。卵(卵内初齢幼虫)で越冬する。												
生態	おもに湿地や溪流沿いに棲むことが多く、平地の雑木林にもいる。日中飛ぶ個体もあるが、♂は夕方さかんに飛び、占有行動をとる。クリやノリウツギなどで吸蜜、クヌギの樹液を吸うこともある。♀はあまり活発に飛び回らず、樹幹や枝に卵塊をつくる。												
食樹	カバノキ科のハンノキ、ヤマハンノキ、ミヤマハンノキ。												
幼虫 (幼生期)	体長 20mm。淡緑色で、背面に濃色の模様がある。食樹の葉をつづつて巣をつくり、夜間摂食する。												
出現時期	(月)	—	—	—	—	—	6	7	8	9	—	—	—
その他													
参考文献：検索入門 渡辺康之著 チョウ													